

2026  
(令和8年)

1

No.1203

# IIDA CITY 広報 いいだ

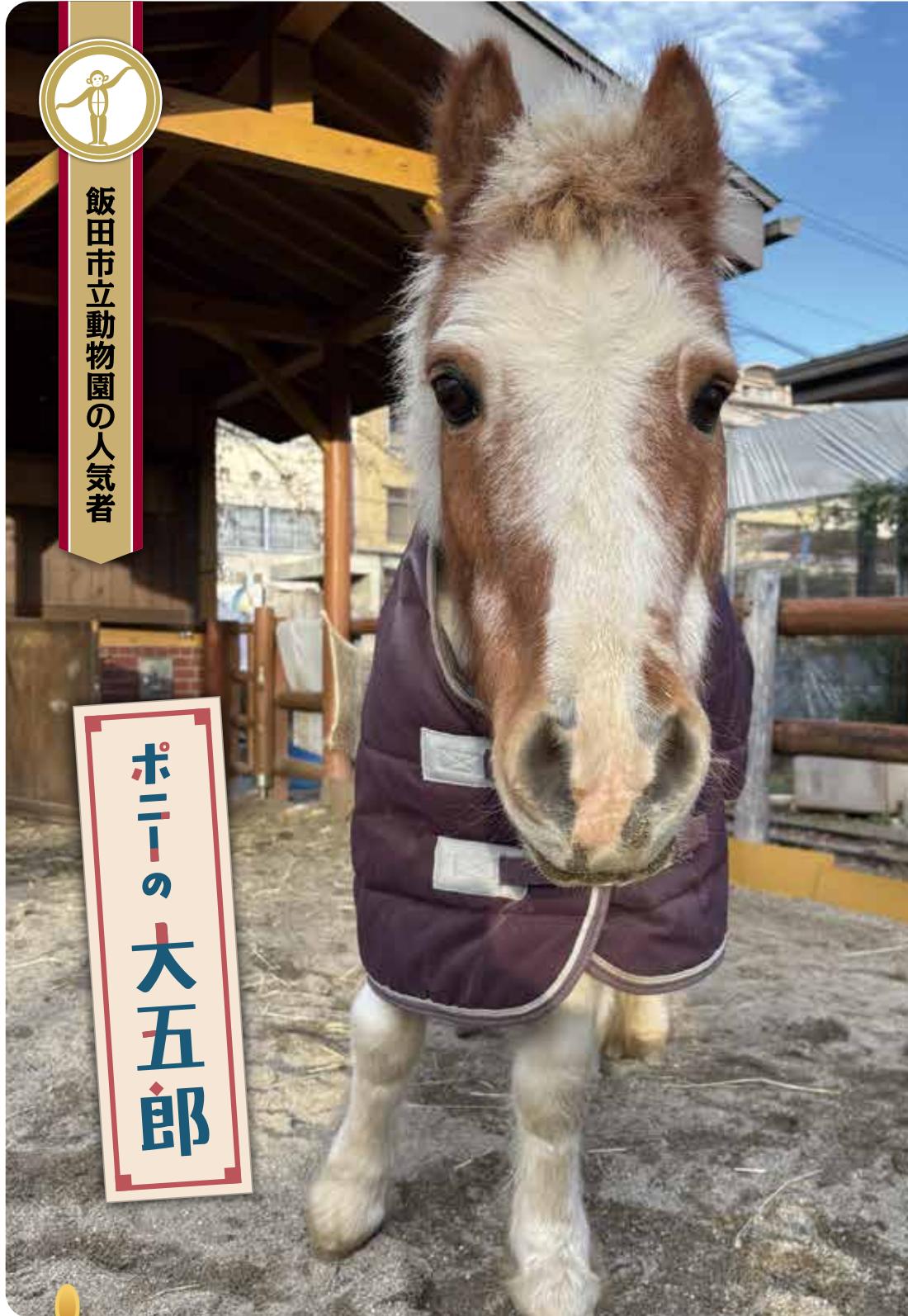


飯田市立動物園の人気者

ボニーの大五郎



✿「市長室から」新年版  
✿ 2025年の主な出来事



謹賀新年  
うま

馬着を着てポカポカの大五郎

【飯田市立動物園】

今年の干支は馬。ニンジン大好き大五郎の年。  
20歳になるおじいさんです。  
動物園に会いに来てね。

# 市長室から



新年版

Vol.56

飯田市長 佐藤 健



## 2026年を迎えて



あけましておめでとうございます。  
健やかに新しい年を迎えるられましたことと  
お慶び申し上げます。



今年の干支は丙午（ひのえうま）ですね。  
少し年配の方であれば、「丙午の年に生まれた女性は気性が激しく、夫の命を縮める」という迷信があったことをご存じだと思います。

何バカなことを、と笑ってしまいそうな話ですが、前回の丙午、1966（昭和41）年は、この迷信のせいか（女の子が生まれたら困ると思ったのか）、前年に比べて25%も出生数が減ったのだそうです。

減ったと言ってもその年の全国の出生数は136万人、2024（令和6）年の出生数68万人の倍です。丙午の迷信など関係なく、この国に生まれてくる子どもの数は減る一方ですが、今年生まれてくる子どもたち一人ひとりに幸あれと心の底から祈ります。



2026（令和8）年はどういう年か、と考えてみると、1996（平成8）年に飯田市が目指す将来都市像として「環境文化都市」を掲げてから30年という節目の年に当たります。

今ほど「環境」というキーワードが意識されていなかったであろう当時に、環境への取り組みを市民の文化と言えるくらいまで高めていこうと謳った先人の見識には驚くばかりですが、近年、猛暑が続き、気象災害が激甚化・頻発化するなど地球温暖化の影響が現実問題となっているというのに、「気候変動問題は史上最大の詐欺」とうそぶく人が某大国の指導者であるという皮肉。そういう今だからこそ、私たち飯田市民は、30年前の先人たちに敬意を表し、今まで以上に環境への取り組みを大切にしなければならないと思います。

環境への取り組みは、「守る」ばかりではなく「攻め」もあります。

信州大学の堂免一成先生らがエス・バードを拠点に進める「水に太陽光を当てて水素を発生させる」グリーン水素（人工光合成）の研究は、世界のエネルギー事情を一変させる可能性のある最先端の研究です。令和8年度には、いよいよ実証実験のための水素生成パネルがエス・バードに設置されます。「ワクワクする未来」の幕開けです。

2026年、市民の皆さんのが1つでも多くのワクワクを感じられる年になるよう、頑張ります。

本年もよろしくお願ひいたします。

「光触媒によるソーラー水素製造システム」の実証実験デモンストレーション装置

- 水中に設置した粉末状の光触媒（光を吸収して化学反応を促進する物質）に光を当てて水分解反応を起こし、水素と酸素の混合ガスを発生させる装置。



# 主な出来事



## 飯田市の1年を振り返る

主な出来事をピックアップしてご紹介します。



**5**  
7日  
南信州ナンバー交付  
開始



**5**  
17日  
金色洞川(松尾)  
排水ポンプ施設  
完成披露会



**6**  
7日  
信州大学空モビリティ  
システム共同研究講座  
開講



**9**  
市立病院に手術支援  
ロボットhinotori  
(ヒノトリ)を導入



**10**  
4日  
道の駅「遠山郷」  
グランドオープン



**10**  
6日  
三遠南信サミットを  
飯田で開催



2

25日

飯田マイクログリッド<sup>(※)</sup>  
を川路地区で運用開始  
※電力を自給自足する  
エネルギー・システム

3  
2日

三遠南信自動車道青  
崩峠道路青崩峠トンネ  
ル(仮称)工事完成式

3  
23日

ロックユニット  
「GLIM SPANKY」  
凱旋ライブ



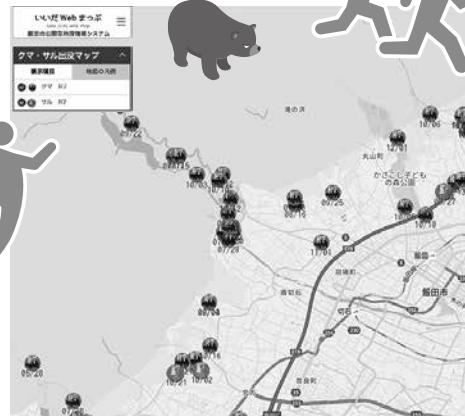
6

11日

南信濃診療所が開所  
し、診療がスタート

7  
13日

大阪・関西万博で  
遠山の霜月祭を披露

7~10  
クマの目撃が相次ぎ、  
数々のイベントが中止になる11  
10日

エス・バードで信州大  
学が水素パネル設置  
に向けた工事を始める

11  
27日

「飯田ひろば」実現に  
向けて、文化会館を分  
散整備する方針案を  
示す

11  
29日

中央図書館  
開館110周年記念  
シンポジウム

## 11月は飯田焼肉月間 焼肉の魅力を語り、味わう



左から北見市長、飯田市長、石垣市長



ニッチローさんと焼肉給食（下久堅保育園）

飯田市、北海道北見市、沖縄県石垣市でつくる日本縦断焼肉連携協議会が、11月29日の「飯田焼肉の日」に「焼肉のまちシンポジウム」を開催し、焼肉による観光振興や文化の継承などについて話し合いました。

前日の28日には市内全小中学校と公立保育園で焼肉給食が提供され、こどもたちが地域のブランド肉などを楽しみました。

## 飯田下伊那最大級の古墳 御猿堂古墳発掘調査



6世紀の前方後円墳とされる御猿堂古墳（上川路）<sup>あさるどう</sup>で、巨石を用いた基底石（古墳の裾）が発掘されました。基底石の位置から、この古墳が飯田下伊那地域で最大級の古墳であることが確実になりました。

## 中央図書館開館110周年 記念シンポジウム開催



これからの図書館を考える「図書館の明日を語る会」を11月29日に開催し、約80人が参加しました。参加者からは「おすすめ本を紹介するコーナーの設置」など、具体的な提案がいくつもあがりました。

市公式SNSでも市内の出来事やイベントなどを配信しています。

ぜひご覧ください。

QRを  
スキャン



Instagram

## 建設業の魅力を感じる 建設業お仕事体験会



飯田東中学校の2年生が、バックハウやドローンの操作体験を行いました。飯田市建設部と上下水道局の若手職員による「飯田市建設業担い手確保プロジェクト」も参加し、建設業の魅力を伝えました。

## 津田塾大学学園祭で 飯田水引をPR



飯田について学ぶ津田塾大学の学生グループが、津田塾大学千駄ヶ谷キャンパス(東京都渋谷区)の文化祭で飯田水引ワークショップを行い、親子や若者に水引の魅力をPRしました。

## 持続可能な水道のために 若者が水道の未来を考える



砂扱浄水場を見学

飯田短期大学と飯田コアカレッジの学生が、水道施設の見学やグループワークを通じて水道事業の未来を考えました。参加者たちは「大変さが分かった。今後は水を大切に使いたい。」と話していました。

## ともにつながるみんなのつどい 共生社会の実現へ



「信州パネルシアター研究会らっぽっぽ」の皆さん

障がいのある方もない方も共に集い「交流を図る場」をつくることを目的に、12月6日に上郷公民館で開催されました。パネルシアターや太鼓演奏などを参加者みんなで楽しみました。

# 現代版 養生訓

病理診断科  
佐野健司 医師

## がんゲノム医療について

2019年から保険診療として始まったがんゲノム医療が、南信の基幹病院である飯田市立病院でも信州大学と連携して、ようやくこの4月から始まっています。がんゲノム医療とは簡単に言いますと、各個人のがんの遺伝子変異に合わせた治療薬の選択が可能になります。生検や手術で採取した病理検体や血液を使用して、多数の遺伝子変異を、腫瘍内の組織や細胞、または血液から次世代シークエンス法という方法で同定して、変異を探索します。この変異に適合する分子標的薬を投与することで、効率的にがんの治療が目指せるとともに副作用が少ないという治療です。

がんゲノム医療を理解するため、がんはなぜ発生するのかということを知ることがまず重要です。我々の体を構成している組織のさらに小さな細胞単位の中に位置する核内に、ゲノムという細胞の設計図である遺伝子が存在します。がんはこの遺伝子に複数変異を生じることによって発生します。その中で細胞の増殖

を促進する遺伝子であるがん遺伝子と細胞の増殖にブレーキをかける遺伝子であるがん抑制遺伝子ががんの発生に深く関係しています。これらの遺伝子を同定することで、この遺伝子の産物である蛋白を標的に治療薬として使用することで、細胞の増殖を制御することが可能になります。

がんの予防という観点で、なぜ変異が生じるのかということを知っておくことも重要ですが、残念ながら充分に分かっていません。しかしいつかの腫瘍ではわかっているものがあります。その代表はパピローマウイルスなどのウイルス感染です。子宮頸部がんや咽頭がんなどがその例です。これに対してはワクチンが大きな効果を発揮します。

その他変異を引き起こすものとして、たばことアルコールになります。たばこでは肺がんや食道がん、アルコールではやはり食道がんなどの消化管のがんの変異を誘導するとされています。

飯田市立病院 〒395-8502 飯田市八幡町438 ☎0265(21)1255

## 休日や夜間に急な病気やケガをした時は

### 〈飯田下伊那の救急医療体制〉

夜間は（毎日） ※受付21:30まで

- 休日夜間急患診療所（内科・小児科）…… 19:00～22:00 ☎0265(23)3636

休日は（日曜日・祝日・年末年始・お盆）

- 休日夜間急患診療所（内科・小児科）…… 9:00～12:30 ☎0265(23)3636
- 在宅当番医（内科・小児科・外科・産婦人科）…… 9:00～18:00（産婦人科は12:00まで）

土曜日は（かかりつけ医）

- 午後休診となる医療機関が多いので、かかりつけ医が休診のときは  
休日夜間テレフォンセンター（☎0265(23)3636）へお尋ねください。

重篤な症状の場合は

- 輪番制二次病院（内科・外科）に救急搬送



在宅当番医の  
受付時間は  
電話でご確認  
ください。



問い合わせ ☎保健課 地域医療支援係 内線5541